

四つのテスト

四つのテストは、職業を倫理的に行う為の具体的な行動の原理・基準、言い換えると、四つのテストは、職業奉仕の各論とされています。

私達は、例会の初めに、四つのテストという歌を歌っています。既に、ご存じの会員ばかりですが、今回は、新会員の為に、四つのテストの由来などについて、説明したいと思います。

1930年代、アメリカを襲った経済の大恐慌の中で、倒産寸前の従業員 250 名位のアルミニウム製造会社がありました。その会社の再建を委ねられたのがシカゴRCの会員ハーバート・テラーという人でした。

彼は、会社を建て直すには、先ず従業員の意識を改革しなければならないと思い、従業員の心を誇りと企業防衛に結集することに着手しました。

その為には、正義こそ力の源泉であることを従業員全員が認識し、従業員が正しさに耳を傾け、それによって行動するような管理運営をやらなければならないと考え、それには、社内の誰でもが頭の中に納め、いつでも即座に対人関係に適用できるような標語みたいなものがないだろうかと考えました。

ある朝、彼は思いついた言葉を書き留めました。それが『四つのテスト』でした。彼は先ずそれを自分で実行してみました。

これならいけると確信し、各セクションの担当部長を集めて聞いてみました。部長の 1 人はカトリック信者、1 人はユダヤ教信者、他の 2 人は信教徒でした。ハーバート・テラーは、宗教信条において異なる 4 人に四つのテストを示し君達の宗教上の信条に反するかどうか尋ねたところ、4 人ともそんなことはないという返事だったので、直ちに、これを全社員に発表し実施することにしました。

そして彼は、全商品の誇大広告を禁止すると共に製品の特徴や長所・短所も忠実に述べる事にしました。

こうして当初、銀行から 6 千ドルを借りて再建に着手。5 年後には元利金全額を返済し、10 年後には押しも押されぬ一流企業に成長し、15 年後には 100 万ドルの配当金を株主に支払う超一流の会社となりました。

四つのテストのことが、シカゴRCに知れ渡るようになり、誰にでも容易に実践できる座右銘ということで、ロータリーの世界に浸透してきました。

その後、ハーバート・テラーは、1954 年 R I の会長となり四つのテストの著作権を R I に譲渡し、彼は、ターゲットとしてこれを掲げ、全世界のロータリーアンがこれによって奉仕活動をやって行くように提唱しました。